



桃五だより



No.599

(5月号)

2021.4.30

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>

今、できることを楽しむ

副校長 日向 須真子

令和3年度が始まって1か月が経ちました。昨年と比べて徐々に全校でできることが増えてきました。

その1 一年生を迎える会

4月16日。1年生106名を校庭で迎えました。前日6年生から送られたペンダントを首から下げたピッカピカの1年生を、2～5年生564名が拍手で迎えました。全校で集まって行事を行ったのは、令和2年2月、体育館で六年生を送る会以来です。上学年の子供たちのお兄さん、お姉さんになった喜びと緊張感と決意にあふれた表情。全校の前に出てきた、一年生のあどけなくかわいらしいしぐさ。久しぶりの全校での行事は、どの子にも成長の機会となっているのが伝わってきて、見ていても心がジーンと熱くなりました。

その2 全校朝会

4月19日。1年生も含めて、全校児童670名が一斉に校庭に集まりました。校長先生が全校児童に直接お話をしたのは、実に1年2か月ぶりです。今まで、全校朝会は Teams を使って行っていました。タブレットの画面を見つめての全校朝会の講話は、子供たちの反応や様子がわからず、なんとも味気のないものでした。やはり、子供たちを目の前にして、同じ空気を感じて行える朝会はいいなあと思いました。

実は、避難訓練で全校児童が校庭に集まる場面はあったのですが、密になる時間を少しでも短くするために、校長先生はお話をするのは控えて、全くしていなかったのです。校長先生のお話にも気合が入っていました。内容は「遠足について」でした。

その3 遠足

去年は全く行われなかった遠足。今年は電車やバスを使わずに、自分の足で歩けるところに行きます。4月20日、4年生は桃井原っぱ公園へ。4月23日、2年生は井草の森公園へ。4月27日、3年生は桃井原っぱ公園へ行きました。天気に恵まれ、行きも帰りも自分たちの足で歩きました。区内の近くの公園で、学校から歩いてすぐということもあり、たっぷり遊ぶ時間が取れました。子供たちはどっぴりと「子供時間」に浸って、楽しんでいました。子供時間とは、子供が自分で考えて、自由に使える時間。大人にあしなさい、こうしなさいと線路をひかれぬ時間。子供本来の独創性と、好奇心が存分に発揮される時間です。コロナ禍という、いろいろな制約がある中ですが、子供の独創性や想像力を育むことは可能だな、物事を楽しんで取り組むことはできるのだなど、遠足を通して思いました。

これからも、全教職員で、子供たちの安全を守ると共に、この状況でも創意工夫をしながら楽しんでいけるたくましさを、子供たちに育てていきたいと思っています。

5月の生活指導目標

友達となかよくなる

新年度が始まり1か月が経ちました。クラス替えもあり、新しい友達がたくさんできたことでしょう。桃五小では、基本的に天気の良い日は外遊びをすることとなっています。ぜひ、体を思い切り動かし、たくさんの友達とふれあいながら、遊びを通して様々なことを学んでほしいです。